

2022年5月

医療関係者 各位

丸石製薬株式会社

日本製薬団体連合会通知に基づく供給状況の表示方法変更に関するお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本製薬団体連合会におきまして、供給状況に関する情報提供及び公開を行うに際し、用語、考え方を統一することで状況を正確に把握していただくことを目的に、医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義が作成されました（2022年4月12日付 日薬連発第297号）。

そのため、今後、供給に関するご案内をさせていただく際の使用用語を下記のとおり変更いたしますと共に、「出荷量の状況」及び「製造販売業者の対応状況」について新たに記載させていただくこと、謹んでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 出荷量の状況

- A. 出荷量通常：これまで*の自社出荷量又は予定出荷量の概ね 100%以上の出荷状況
- B. 出荷量減少：これまで*の自社出荷量又は予定出荷量の概ね 80%以上 100%未満の出荷状況
- C. 出荷量支障：これまで*の自社出荷量又は予定出荷量の概ね 80%未満の出荷状況
- D. 出荷停止：市場に出荷していない状況

※ これまでとは 2020 年 9 月時点

■ 製造販売業者の対応状況

- ① 通常出荷：全ての受注に対応できている、又は十分な在庫量が確保できている状況
- ② 限定出荷（自社の事情）：自社の事情により、全ての受注に対応できない状況*1
- ③ 限定出荷（他社品の影響）：他社品の影響等にて、全ての受注に対応できない状況
- ④ 限定出荷（その他）：その他の理由*2にて、全ての受注に対応できない状況

*1 全ての受注に対応できない状況：新規顧客の注文や増量受注の辞退など

*2 その他の理由：季節性製剤や一過性需要過多、災害等による被害など

■ この件に関するお問い合わせ先

丸石製薬株式会社 学術情報部
〒538-0042 大阪市鶴見区今津中 2-4-2
TEL. 0120-014-561

以上